

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)よこごしの里新築工事 江南区 横越中央5丁目3589-1外7筆 第1種住居地域 法 病院, 2012年3月 予定 2,825.65 m ² 1,204.13 m ² 2,461.89 m ² 地上3F S造 実施設計段階評価 2012年2月10日	
-------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

2. CASBEE新潟の評価結果

<p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{48}{46} = 1.0$
-----------------------------------------------	-----------	--------------------------------------------------------------------------------

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	3.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみ・景観への取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

重点項目配慮として以下を取入れた建物としています。長寿化の取組みとして、バリアフリー・維持管理が容易。地震に対しては基準法に定められた耐震性能を備えた構造設計。自然エネルギー利用の取組みとして、どの部屋においても自然換気による風の流通がスムーズ、サッシは熱負荷を考慮した複層ガラスを採用。まちなみ・景観への配慮として、外壁色は近隣との違和感の無い自然な色合いとし、屋根は瓦屋根としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

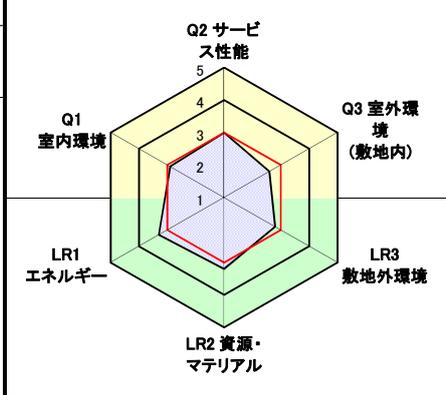
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

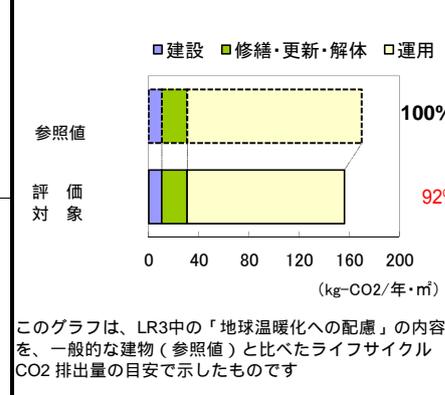
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



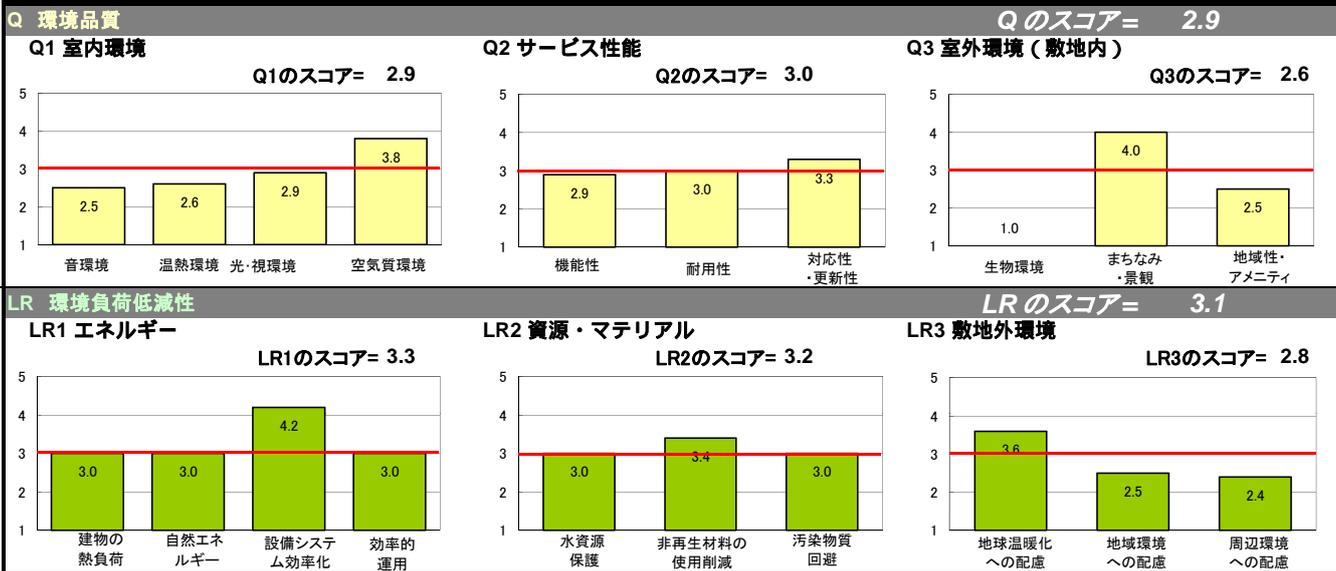
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>・特別養護老人ホームとして、入居される方がより安心して快適な生活を歩んでいただくためにバリアフリー、容易な歩行・転倒防止としてスベりにくい床材、明るく清潔な使いやすい空間構築とした自然採光、自然換気を取り入れた施設、職員さんたちが施設全体を見渡せ入居者さん達に安心感と安らぎを与える施設と考えました。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>室内で快適な生活を過ごせるようにメイン道路側の開口部を少なくし遮音を図っている。自然採光・通風に考慮した窓、外壁は耐火性があり内部には断熱材を充填、冷暖房効果にも役立っている。直接日差しが入らないようにバルコニーの設置している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・建物を長く快適に使用するための配慮として、建物全体のバリアフリー化、通路に手摺取付、地震・火災に強い耐震設計、耐火建築としている。又、共用空間はゆとりがあり、みんなが使いやすい空間としている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・省エネ対策として窓ガラスは複層ガラスを採用、外周はバルコニーを設け直射日光が入りにくい構造でありながら、自然採光を充分に取り込み開放感のある窓としている。壁には断熱材充填など熱負荷対応の抑制をしている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・節水、節電、再生建材の利用として、一部自動水栓設置により止水忘れ、人感センサーによる自動点滅とし消し忘れ、床・壁・天上仕上材はシックハウス対策(フォスター)製品を使用している。又、土間下には再生砕石を使用し資源利用をしている。</p>
	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・周辺建物とのバランスを考慮して、屋根は瓦葺き、外壁色も落ち着いて自然に馴染む色としている。メイン道路側には生垣を設け地域環境を損なわないように対応している。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・周辺地域に影響をおよぼさないように大型室外機は避け、個別の空調室外機による低騒音タイプとしている。敷地周辺に交通渋滞を起こさないように敷地内は広い空間を設けている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される